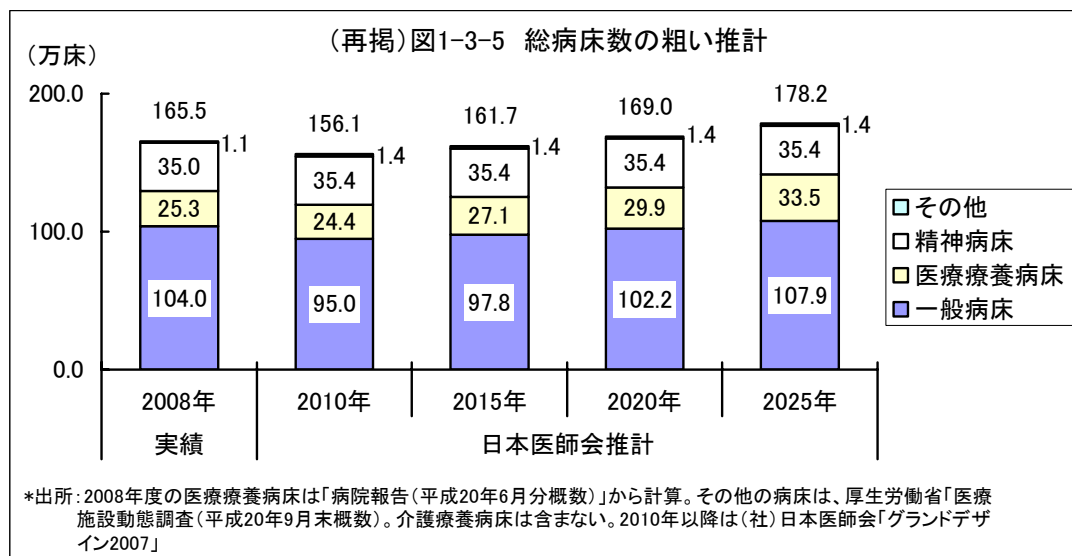


分を加算した。



④ 医療の高度化のためのコスト

厚生労働省は、国民医療費の伸びの内訳を、人口増減・高齢化等の影響、制度改革の影響、診療報酬改定の影響、医療技術の進歩・高度化等に区分してきた(表 2-1-5)。しかし、昨今では厳しい医療費抑制によって、医療の高度化分の診療報酬は手当てされていないのが実態である。そこで、医療費に医療の高度化分を別途加算したケースについても試算しておく。加算分は、2006年度の医療制度改革以前の医療の高度化による医療費の伸び率 2.2%を用いる。

表2-1-5 医療費の伸びの要因分析(厚生労働省資料)

	1990年	1990～1994年度	1995年	1995～1999年度	2000年	2000～2003年度
国民医療費	20.6兆円		27.0兆円		30.1兆円	
国民医療費の伸び(①+②+③+④)		5.5%		3.6%		0.7%
人口増減・高齢化等の影響 ①		1.8%		1.9%		1.8%
高齢化等の影響を除いた1人当たり医療費の伸び(②+③+④)		3.7%		1.6%		▲1.1%
制度改革の影響 ②		0.0%		▲0.9%		▲2.7% ※
診療報酬改定の影響 ③		1.1%		0.1%		▲0.6%
医療技術の進歩・高度化等 ④		2.6%		2.4%		2.2%

(※)平成12年～15年度の制度改革の影響は、精度の低い方法により計算したごく粗い数値

*出所: 社会保障国民会議・サービス保障(医療・介護・福祉)分科会(2008年9月9日)「社会保障国民会議における検討に資するために行う医療・介護費用のシミュレーションの前提について」